

WindowsXPを遠隔操作

蘇えれ！Win95 旧マシンで最新マシンを操作する！

「WindowsXPのプロフェッショナルとホームエディションの違いは何ですか？」と聞かれる事があります。細かい部分で違いはいろいろありますが、今回ご紹介する「リモートデスクトップ」の機能も違いの一つです。プロフェッショナルをお持ちの方は、簡単な設定でリモートデスクトップの『サーバ』に出来ますので、一度試してみたいはかですか。

どうやって操作するの？（リモートデスクトップ）

リモートデスクトップとは、簡単に言えば、PCを遠隔操作する機能です。離れた所にあるPCのデスクトップを、手元のPCの画面で見ることができ、手元のキーボード、マウスで離れた所のPCを操作出来ます。手元のPCは、離れた所のPCの画面を見るだけで、実際の作業は離れた所のPCが処理します。手元のPCは低スペックでも、離れた所のPCが高性能であれば、処理は速くなります。だから、Windows95からWindowsXPを操作する事もできるのです。



デスクトップにもう一つデスクトップが！

こんな時に威力を発揮！（楽々リモート操作）

リモートデスクトップを利用するとPCの用途が広がります。

■外出中のメールチェック

クライアントでは実際にメール受信はしません。クライアントはサーバの画面情報だけを見ているので、大きな添付ファイルがあってもOK！メールはサーバから直接返信したり、クライアントに転送したり、いろいろ活用出来ます。

■iEPGで自宅のDVDレコーダーの予約

世の中はとても便利になりました。パソコンと接続して、パソコン上で録画予約が出来るDVDレコーダーもあります。自宅のPCにアクセスしてどこからでも録画予約が出来ます。

■自宅PCのソフトを会社で使う

「この作業、自宅のPCのソフトだと簡単なんだけど・・・」と思った事はありませんか。リモートデスクトップならそれが実現します。貴方のPCのソフトを貴方が使うのですから、ライセンス違反にもなりません。

■1台のモニタを2台のパソコンで使う。

離れていなくてもリモートデスクトップは利用出来ます。パソコンが2台あるのにモニタが1台しかない時、モニタのないPCをサーバにして、モニタを接続しているPC(クライアント)からアクセスします。

細かい設定でもっと快適に！でも・・・セキュリティには気をつけて！

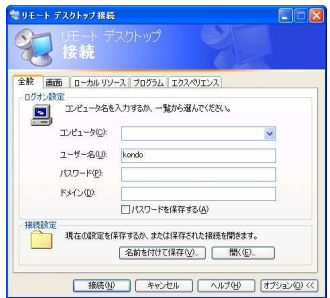
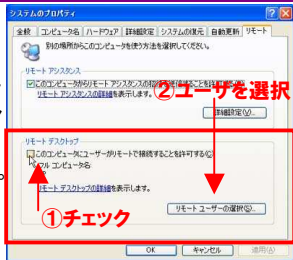
接続画面には「全般」のほかにもタブがあります。「画面」タブの「全画面表示」(初期値)では、クライアントのモニタ全面にサーバのデスクトップが表示され、一体どちらを操作しているのかわからなくなるほどです。「エクスペリエンス」タブは通信速度を選択するだけで、その速度にあった最適なデスクトップ環境に調整してくれます。「ローカルデバイス」タブでは、クライアント側のPCに接続されたプリンタやドライブの扱いを設定出来ます。プリンタには最初からチェックが付いていますが、チェックを外して印刷するとサーバにつながったプリンタから、チェックを付けたらクライアント側(手元の)プリンタから印刷されます。便利なりリモートデスクトップですが、外部からアクセスするのでからファイアーウォールの設定で3389番ポートを開けなければいけません。ポートを変更する場合はレジストリの変更が必要です。セキュリティの設定には十分気をつけて下さい。

必要なものはたったコレだけ！

離れた所から操作される「サーバ」機能はXPプロフェッショナルまたはWindows Server 2003に標準搭載されています。サーバにアクセスして操作する「クライアント」機能はXPに標準搭載、2000やMe、98、95は、XPのCD-ROMから追加インストール出来ます。(マイクロソフトのサイトからダウンロードも出来ます)XPのサーバ機能は同時に1人しかアクセス出来ませんが、2003では複数の同時アクセスが可能です。

設定はたった3分。こんなに簡単でいいの！

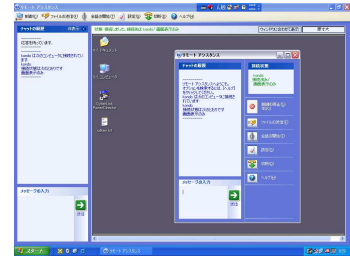
サーバの設定は簡単！予め、アクセスを許可するクライアントのアカウントとパスワードを「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」で追加しておき、「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」画面の中にある「リモート」タブをクリック。リモートデスクトップの項目にチェックを入れ、「リモートユーザの選択」ボタンを押して、ユーザを追加するだけです。



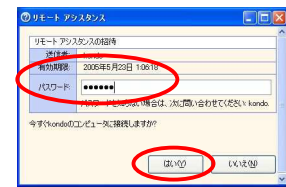
クライアントは、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」と辿り、「リモートデスクトップ接続」をクリックします。接続画面の「オプション」を開き「全般」タブでサーバのコンピュータ名またはIPアドレス、サーバに登録したアカウントとパスワードを入力します。「接続」ボタンをクリックすると、目の前にサーバのデスクトップが現れます。

リモートアシスタンス???

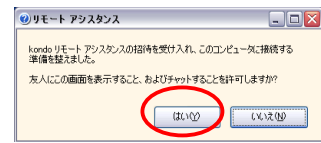
WindowsXPにはリモートデスクトップのほかに、『リモートアシスタンス』と言う機能もあります。この機能は、「依頼者」が自分のデスクトップを離れた「支援者」に見てもらい、トラブル対処の方法を覚えてもらう時に使います。両方の画面にはテキストのやり取りをするチャットのウィンドウが開きます。利用する時はまず、依頼者が「すべてのプログラム」→「リモートアシスタンス」をクリックすると、「ヘルプとサポートセンター」画面が開きます。後は画面の指示に従いパスワードの入力などをして支援者に『招待状』を送ります。電子メールの『招待状』では支援者は添付ファイルを開きパスワードを入力します。依頼者の画面には接続許可を求めるウィンドウが開きます。



支援者から見た依頼者のデスクトップ



支援者はパスワードの入力を求められます。依頼者は接続を許可します。



「はい」をクリックすると依頼者の画面にはチャットのウィンドウ、支援者の画面には依頼者のデスクトップが表示され接続が完了します。このままではテキストのやり取り(チャット)だけですが、音声会話が出来たり、支援者からの要求でリモートデスクトップの様に、依頼者のマシンの制御も出来るようになります。リモートデスクトップと違い、リモートアシスタンスは、両方のマシンの前に人がいなければいけません。

XPや2003Server以外のマシンをリモート操作する場合は、『VNC』などのフリーソフトが使えます。VNCは日本語化されたものもありますので、興味のある方はネットで検索してみてください。しかし、外部からのアクセスを許可しますのでセキュリティには十分注意して下さい。

開発室から

古いノートパソコンを引っ張り出してきて自宅でもリモートデスクトップの実験をしました。古いパソコンなので、LANカードを挿したりドライバのインストールなど下準備に時間がかかりましたが、リモートデスクトップのインストール、設定はあっという間。XPマシンをリモート操作してのインターネットはとても快適です。古いノートパソコンから直接インターネットをするよりページの表示が速いのです。今、蘇えった9年前のノートパソコンの使い道を考えてワクワクしています。